

補足説明書

DAYTONA corp.

R92314①/②

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この補足説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの補足説明書も併せてお渡しください。

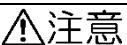
 T511 防水インナーバッグ	適合ケース	商品NO.
	OUTBACK42	92314

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 補足説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この補足説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">オフロード走行をしないでください。法定速度以上の使用は脱落の恐れがあります。法定速度内にてご使用ください。また、強風時や荒れた路面、砂利道など振動が極端に大きくなる場合には速度を控えめにしてください。鋭くとがった物は、入れないでください。バッグが破れ中の荷物が落下し、後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な障害に至らしめる可能性が高くなります。以上に接触した場合は、商品の破損や車体の損傷を招くだけでなく、事故を誘発しお客様が重傷を負ったり死亡する可能性があります。また第三者の財産や生命を損なう恐れがあります。
--	---

注意

 実施	<ul style="list-style-type: none">各商品の指定積載上限を必ず守ってください。濡れた荷物を入れるとカビなどの原因になります。精密機器の取扱いにもご注意ください。 特にパソコン等の精密機器を入れて走行しないでください。破損しても保証対象外となります。バッグ単品積載重量は3kgです。重量オーバーにならない範囲でご利用ください。ケースやステーの最大積載重量がオーバーにならない範囲でご利用ください。バックのフタを閉める際に荷物を挟んでいないか確認してください。破損や変形の可能性があります。使用状況、または使用環境によりバッグ内部が高温になる場合があります。熱対策されていないものの使用にご注意ください。車両を離れる際は、貴重品は入れない、バッグを外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。本品を使用される際には、必ず走行前に異常が無いことを確認してください。また、走行中の振動等によりベルト等が緩む場合があります。装着状態を常に注意し、確実に固定された状態で走行してください。定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施してください。荷物を無理に押し込みますと商品の破損の原因となりますのでお止めください。耐熱性はありません。密閉性が高い為、気温差などにより荷室内部で結露する場合があります。バッグのフタを閉める際に荷物を挟んでいないか確認してください。破損や変形の可能性があります。
--	--



その他

- 警告、注意など本紙に記載の事項を無視して発生したいかなる不具合に対しても株式会社デイトナおよびイタリアGIVI社は一切の責任を負いません。
- 本品及び本書に記載された商品は予告なく、価格、仕様等変更する場合があります。
- 車両重量の増加と重心変化、空気抵抗等の理由によりハンドリングおよびブレーキ性能等が悪化します。**
予めご了承ください。(このような症状は、タイヤの磨耗、空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのペアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に整備してください。)
- 日焼けや水濡れ等による変色についてのクレームは受け付けておりません。予めご了承ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	バッグ本体(容量:38L)	縦約370×横約360×高さ約240mm	1
②	固定用ゴム	800mm	2
③	ショルダーベルト		1

使用方法

<インナーバッグバッグとして使う場合>

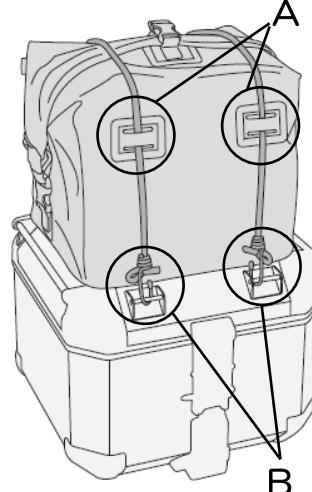
- ① バッグのファスナーを閉めて、バックル3箇所を固定します。
- ② バッグ内に空気が入っている場合は、バルブからエア抜きを行ってください。
- ※ バルブは右に回すと閉じ、左に回すと開きます。

<トップケースに乗せて使う場合>

- ① バッグのファスナーを閉めて、バックル3箇所を固定します。
- ※ ファスナーが隠れる様に、口元を1回巻いてからバックルの固定をすると、防水性が上がります。
- ② バッグ内に空気が入っている場合は、バルブからエア抜きを行ってください。
- ※ バルブは右に回すと閉じ、左に回すと開きます。
- ③ バッグ本体をケースの上に乗せたら、固定用ゴムをバッグのA部に通してケースのB部にフックを引っ掛けます。

⚠ 注意

- 荷物の少ない状態や中の空気が抜けていない状態で固定しようとすると、しっかりとテンションが掛からない可能性があります。テンションが掛ける為に、バッグにはある程度の荷物を入れて、空気を抜いてから固定してください。
 - 付属の固定用ゴムのみでしっかりと固定できない場合は、別売のストレッチコードなどと併用してください。
 - 荷物収納時や走行時の振動や風などを考慮し、走行前・走行後に各部の点検を行ってください。
 - このバッグは、インナーバッグとして使う事を基本に設計されています。
ケースの上に乗せて使う場合は、防水性が低下する為、中の荷物をビニール袋に入れる等の対策が特に必要です。
- ④ しっかりと固定されている事を確認して作業完了です。



ご使用上の注意

1. この商品は完全防水ではありません。長時間の使用や激しい雨の日に使用しますと、開口部及び接合部より水が侵入する場合があります。また、撥水性があちてきた場合には、市販の撥水スプレーをご使用ください。
2. ぶつけたり、こすったりするとバッグの生地が傷み破れますので取り扱いには注意してご利用ください。
3. 貴重品や、振動、耐熱性に劣るものは中に入れないとください。
内容物の取り扱いには自己責任でお願いします。
当社ではいかなる場合でも内容物に関しての補償いたしません。
4. 防水性能を持ったバッグですが、圧力のかかった場合や経年劣化により水が浸入する可能性があります。

東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

⑤ デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで